

2017年度数学教育学会秋季例会プログラム（第1報）

最新情報は、数学教育学会ホームページにて公開いたします
<http://www.mes-j.or.jp/>

日時 2017年9月12日（火）～14日（木）
 会場 山形大学小白川キャンパス 地域教育文化学部1号館
 教室番号 114講義室（第1会場）、113講義室（第2会場）、112講義室（第3会場）
 実行委員長 大澤弘典（山形大学）
 実行委員 栗原秀幸（福島大学）、加藤卓（東京福祉大）、後藤学（相模女子大学）
 顧問 皆川宏之（山形大学）

9月12日（火）（受付時間 9：20～16：00）

	第1会場	第2会場	第3会場
9:50～10:50 11:00～12:00	統計・情報教育分科会	歴史・哲学・比較教育分科会	大学院生等発表会
13:10～14:10	総合講演Ⅰ（仮題）「数学教育、それが問題だ」 砂田利一（明治大学）		
14:20～15:20	総合講演Ⅱ「2030年代に向けて、日本の数学教育学界に期待すること」 安井 孜（鹿児島大学名誉教授）		
15:30～17:10	Organized Session A 知識社会を自立協働して支える人材育成に 求められる学校数学とは オーガナイザ 町田彰一郎（埼玉大学名誉教授）	Organized Session B （仮題）Active Learning の実際と課題 オーガナイザ 守屋誠司（玉川大学）	
17:20～18:00	部会・委員会打ち合わせ		

9月13日（水）（受付時間 9：00～16：00）

	第1会場	第2会場	第3会場
9:30～10:30 10:40～12:00	高等学校分科会1	中学校分科会1	幼稚園・小学校分科会1
13:00～14:00	高等学校分科会2	中学校分科会2	幼稚園・小学校分科会2
14:10～16:40	シンポジウム「算数教育の課題を探る～小学校の内容と方法を見直す～」 コーディネータ 岡部恭幸（神戸大学） パネリスト		
17:00～18:00	第1会場：理事会		
18:20～20:20	懇親会 山形大学小白川キャンパス 厚生会館1階		

9月14日（木）（受付時間 9：00～14：00）

	第1会場	第2会場	第3会場
9:30～10:30 10:40～12:00	専門学校・大学分科会1	教育課程・評価分科会	
13:00～14:20 14:30～15:50	専門学校・大学分科会2	教員養成・研修分科会	

総合講演, Organized Session, シンポジウムの標題はすべて仮題です。変更となることがあります。

◆参加費：2,000 円

発表申し込み 7月1日～7月10日

原稿提出 7月1日～7月31日

分科会担当者および問い合わせ先, 発表申込み先 E-mail アドレス

分科会①: 幼稚園・小学校数学教育分科会

渡邊伸樹(nobuki@kwansei.ac.jp), 守屋誠司, 岡部恭幸, 加藤卓
発表申込みおよび論文送付先 渡邊伸樹(nobuki@kwansei.ac.jp)

分科会②: 中学校数学教育分科会

白石和夫(shiraish@koshigaya.bunkyo.ac.jp), 竹歳賢一, 松寄昭雄, 吉村昇
発表申込みおよび論文送付先 松寄昭雄(makio@mail.saitama-u.ac.jp)

分科会③: 高等学校数学教育分科会

長岡亮介(magaoka@math.meiji.ac.jp), 及川久遠, 中込雄治, 二澤善紀
発表申込みおよび論文送付先 及川久遠(oikawa@nishitech.ac.jp)

分科会④: 専門学校・大学数学教育分科会

愛木豊彦(aikit@fc.jwu.ac.jp), 植野義明, 渡辺信, 峰村勝弘, 鈴木桜子
発表申込みおよび論文送付先 愛木豊彦(aikit@fc.jwu.ac.jp)

分科会⑤: 数学教員養成・研修分科会

栗原秀幸(kurih@educ.fukushima-u.ac.jp), 牧下英世
発表申込みおよび論文送付先 栗原秀幸(kurih@educ.fukushima-u.ac.jp)

分科会⑥: 歴史・哲学・比較教育分科会

富永雅(tommy@cc.osaka-kyoiku.ac.jp), 鈴木正彦, 柳本哲, 松崎和孝
発表申込みおよび論文送付先 富永雅(tommy@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

分科会⑦: 統計・情報教育分科会

竹内光悦(takeuchi-akinobu@jissen.ac.jp), 三浦由己, 船倉武夫
発表申込みおよび論文送付先 竹内光悦(takeuchi-akinobu@jissen.ac.jp)

分科会⑧: 教育課程・評価分科会

渡邊公夫(kimio@waseda.jp), 黒田恭史, 秋田美代
発表申込みおよび原稿送付先 秋田美代(akitam@naruto-u.ac.jp)

大学院生等発表会：

黒田恭史(ykuroda@kyokyo-u.ac.jp), 鈴木正彦, 岡崎貴宣, 岡本尚子
発表申込みおよび原稿送付先 黒田恭史(ykuroda@kyokyo-u.ac.jp)

◆発表申込締切: 2017年7月10日(月)

下記の **発表申込書式** で E-mail でお送り願います。件名に「**2017 例会申込**」と記載をお願いします。第1著者及び発表者は学会員に限りますので、申込時に会員番号(学会通信を送付した封筒の宛名ラベルに記載されています)を必ず記入してください。また、非会員で発表を希望する方は、入会申込み手続きを同時に行ってください。なお、同一分科会での登壇発表者は1名につき1回です。ご注意ください。

◆発表論文送付締切: 2017年7月31日(月)到着厳守

下記の **発表論文原稿書式**を用いて、3 ページ以内でMicrosoft Wordにて作成し、WordファイルとPDFファイルを発表論文送付先E-mailアドレスへ**件名に「2017 例会論文」と記載の上**、添付ファイルにて送信ください。

発表申込書式および 発表論文原稿書式の Word による ひな型 がホームページからダウンロードできますので、それを使ってください。

なお、Word での送付が困難な場合につきましては、PDF ファイルでの送付をお願いします。

- ◆予稿集について:予稿集は、著者から提出された原稿をそのまま印刷します。
- ◆年会プログラムについて:分科会プログラムを20分刻みで作成します。発表時間は15分です。座長判断により、分科会の残余時間をディスカッション等にあてることがあります。
- ◆例会中の緊急連絡について: 例会の発表が病気などの理由により変更が必要になった場合は、電子メールで、**件名に「緊急」**と書き、本文に理由等を書いて、meeting@mes-j.or.jp 宛にお送りください。(緊急連絡の受付は、9月12日(火)より開始し、14日(木)に終了いたします)

数学教育学会 年会・例会予稿集投稿規定

2016. 6. 20

1. 本規定は、年会および例会における一般発表論文について定める。シンポジウム、総合講演、オーガナイズドセッション、SG 報告等については、第 5 項を適用する。
2. 年会または例会において発表を希望する会員は、指定期日までに、題目、氏名(会員番号)、所属、および 200 字程度の概要とともに発表を申し込む。
題目は、36 文字以内とする。ただし、副題(36 文字以内)を追加してもよい。
所属名は、
現職教員(専任)は、所属校の名称、
退職教員は、元 …… , あるいは、……名誉教授、などとし、
学生・生徒は、所属校名に院生、学生、生徒の別を付記するものとする。
3. 第 1 著者としての発表申し込みは、年会、例会ごとに、各分科会において最大 1 件とする。
4. 発表を申し込んだ会員は、指定期日までに原稿を提出する。複数著者による連名論文の場合、第 1 著者は申し込んだ会員でなければならない。
5. 原稿はモノクロ A4 版 3 ページ以内とし、別に定める書式に従って PDF形式のファイルで提出する。

2017年度 数学教育学会秋季例会 発表申込書式

2017年度数学教育学会秋季年例会 発表申込書

発表希望分科会・発表会：「 _____ 」

発表で希望する機材（○を記入して下さい）

液晶プロジェクター

（液晶プロジェクター使用の方はコンピュータをご用意ください）

書画カメラ（書画カメラは会場設備の都合で準備できないことがあります）

講演題目「 _____ 」

氏名1 「（会員番号： _____） _____」

勤務先1 （ _____ ）

メール1 （ _____ ）

氏名2 「（会員番号： _____） _____」

勤務先2 （ _____ ）

メール2 （ _____ ）

（すべての共同発表者について、会員番号（会員である場合）、氏名、勤務先、メールアドレスを追加してお書きください。会員番号は、学会通信送付の封筒の宛先に書かれています。）

連絡先住所：

電話： _____ Fax： _____

概要（200字程度、必須）

発表希望日：特に希望がある場合は、お書きください。また、ご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。

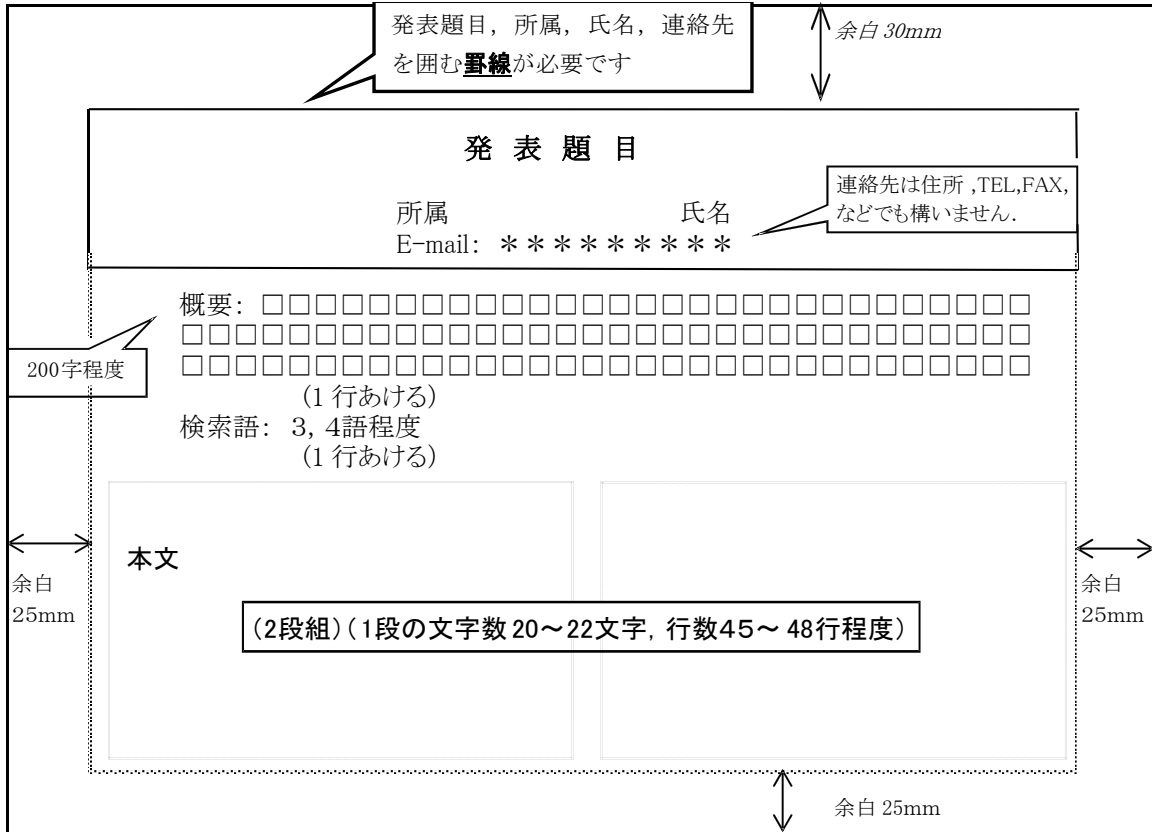
懇親会：（○を記入して下さい）

参加

2017年度 数学教育学会秋季例会 発表原稿書式

1. サイズ…A4版
2. ページ数…3ページ以内
3. 原稿の書式(以下の通りです)

(学会ホームページに掲載されている Word 文書によるひな形をお使いください)



4. 原稿締め切り期日… 2017年7月31日(月) 必着
(注)期日に間に合わないと, 予稿集に載りません.
5. 原稿送付先
申込み先分科会ごとに指定されたアドレスに御送付ください。
6. 特に発展性のある発表に関しては, 本人の自由投稿以外にも, それを認めた分科会担当者から, 「学会誌」への推薦を行う場合があります.